



本事業は、SDG s の「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2024 年 8 月 20 日（火）  
愛知県経済産業局  
産業立地通商課  
国際業務企画グループ  
担当 篠田、鈴木  
内線 5296、5298  
ダイヤル 052-954-6356

愛知県政策企画局国際課  
国際戦略グループ  
担当 木俣、中村  
内線 2256、2448  
ダイヤル 052-954-6130

## 知事の東南アジア渡航中の行事結果について

2024 年 8 月 19 日（月）午前、知事はインドネシア共和国・ジャカルタ首都特別州において、ラフマツト・ゴーベル インドネシア国会副議長と面談しました。

午後には、パハラ・ヌグラハ・マンスリー インドネシア外務副大臣、ユスフ・カッタ インドネシア前副大統領、ブディ・カルヤ・スマディ インドネシア運輸大臣と面談しました。

その後、愛知県主催で経済交流会を開催し、インドネシア共和国政府、現地企業・団体及び愛知県からの進出企業など、約 150 名が出席しました。

### 1 インドネシア国会副議長との面談（担当：国際課）

#### (1) 日時

2024 年 8 月 19 日（月）午前 11 時 10 分から午前 11 時 40 分まで  
（日本時間 8 月 19 日（月）午後 1 時 10 分から午後 1 時 40 分まで）

#### (2) 場所

国民議会議事堂（ジャカルタ首都特別州）

#### (3) 面談者

ラフマツト・ゴーベル インドネシア国会副議長

#### (4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 <sup>しまおただし</sup> 嶋尾 正 会頭

一般社団法人 中部経済連合会 <sup>みやもとふみたけ</sup> 宮本文武常務理事

ジェトロ名古屋 <sup>ひらのしゅういち</sup> 平野 修 一 所長

#### (5) 内容

大村知事は、国民議会議事堂を訪問し、ゴーベル インドネシア国会副議長と面談しました。

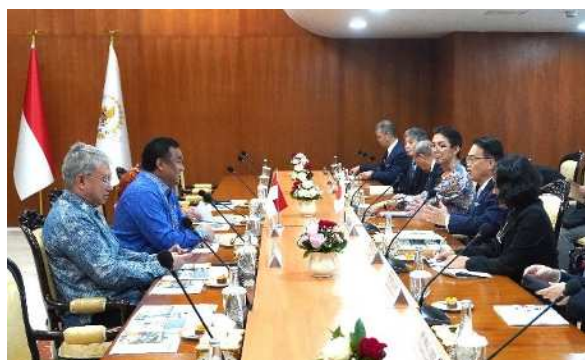
大村知事は、「愛知県からインドネシアには多くの愛知県企業が進出しており、日本からインドネシアへの投資の約半分が愛知県の企業の投資である。加えて、日本には

約 150,000 人のインドネシア人が在住し、愛知県にはそのうち約 12,000 人が在住している。2017 年に貴国のダルミン経済担当調整大臣との間で『経済交流に関する覚書』を結んでおり、ジャカルタに日本からの進出企業を支援するサポートデスクも開設している。このように貴国との間には深いつながりがある。そうしたことから、愛知における貴国公館設置のニーズは非常に高いため、本日午後に予定されているパハラ外務副大臣との面談の際には、貴国公館設置に係る要望を行う予定である。愛知・名古屋に新たに公館を設置いただければ、貴国と愛知の人的交流・経済交流がより促進され、双方のますますの発展につながるものと信じている。ぜひともゴーベル副議長にもお力添えいただきたい。」と発言しました。

これに対してゴーベル副議長から、「愛知県企業には多くの投資をしていただいております。インドネシア経済に大きく貢献している。特に製造業が盛んであることが愛知県の特徴であるが、インドネシアにおいては多くの雇用を創出していただいているのに加え、環境にやさしいモノづくりをしている。また、他国に比べて日本企業の生産性は非常に高く、人材育成もしっかりしており、愛知県企業を含む日本企業はインドネシアに対してポジティブな影響を与えている。今後も愛知との関係が発展していくことを願っている。」と発言がありました。

また大村知事は、「愛知県では、スタートアップを起爆剤としたイノベーション創出に尽力しているが、日本国内最大のスタートアップ支援施設『STATION Ai』が今年 10 月についにオープンする。ソフトバンクと共同でプロジェクトを進めており、愛知県はこれまでスタートアップ支援に関して、世界中のスタートアップ支援機関との連携を進めてきた。東南アジア地域では、シンガポール国立大学との連携が進んでいる。今後、愛知県とインドネシアの間でも連携が進むことを望んでいる。」と発言し、STATION Ai を PR しました。

ゴーベル副議長は、「グローバル化が進み競争が厳しくなる中で、スタートアップの存在は非常に重要である。スタートアップは組織が小さいからこそ、何事にも素早く対応ができる。インドネシアにおけるスタートアップの数は世界第 6 位と言われており、非常に多くのスタートアップが活躍している。両国のスタートアップの交流が進めば、間違いなく双方にとって利益となる。」と応じ、今後も両国の発展に向けて協力していくことを確認しました。



ゴーベル国会副議長との面談の様子



ゴーベル国会副議長との記念撮影



面談出席者との記念撮影

## 2 インドネシア外務副大臣との面談（担当：国際課）

### （1）日時

2024年8月19日（月）午後0時10分から午後0時40分まで

（日本時間8月19日（月）午後2時10分から午後2時40分まで）

### （2）場所

インドネシア外務省（ジャカルタ首都特別州）

### （3）面談者

パハラ・ヌグラハ・マンスリー インドネシア外務副大臣

### （4）愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 嶋尾正会頭

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

### （5）内容

大村知事は、インドネシア外務省を訪問し、パハラ外務副大臣と面談しました。

大村知事は、「愛知県には日本国内最多の約12,000人のインドネシアの方が在住しており、自動車産業で働く方が多い。また、日本からインドネシアへの投資の約半分が愛知県の企業の投資であり、多くの日本企業が進出していることから、愛知における貴国公館設置のニーズは非常に高い。愛知・名古屋に新たに公館を設置いただければ、貴国と愛知の人的交流・経済交流がより促進され、双方のますますの発展につながるものと信じている。ぜひ、愛知・名古屋への貴国公館の設置をお願いしたい。」と発言し、愛知・名古屋への公館設置に係る要望を行いました。

これに対してパハラ外務副大臣から、「インドネシアに進出しているトヨタ自動車を始めとした自動車産業に関わる企業の活動が、インドネシアの中小企業の発展に寄与している。これからも両国の関係が発展していくよう御協力をお願いしたい。日本に住むインドネシア人は、自動車産業だけでなく様々な分野に従事しているが、日本からの支援に対して感謝するとともに、敬意を表する。インドネシアは人材育成を重要なものとして位置付けており、できるだけ長く日本で働けることが人材の育成にとって重要なことである。愛知県には名誉総領事館が設置されているが、領事館の設置についても駐日本インドネシア大使館へ相談するなどして関係者により検討させていた

だきたい。」と発言がありました。

また、大村知事は、「日本・愛知は、2028年技能五輪国際大会の開催地に立候補している。2028年大会の開催地は、本年9月に開催されるWSI(WorldSkills International)の総会で加盟国の投票により決定する。貴国からも是非御支援をお願いしたい。」と発言したところ、パハラ外務副大臣から「協力させていただく。」との回答がありました。

大村知事とパハラ外務副大臣は、副大臣がガルーダ・インドネシア航空のCEO時代に2度面談を行っており、今回の再会を喜び合いました。大村知事からは、「インドネシアから中部国際空港への直行便はコロナ禍に休止してしまっただが、両地域の交流がますます盛んになるよう、将来的には直行便の復活を期待している。」と発言したところ、パハラ副大臣からは、「可能であれば直行便が再開されることが望ましいので、検討させていただく。」との発言があり、今後も愛知とインドネシアのつながりをより一層深め、日本とインドネシアの関係を強化していくことを確認しました。



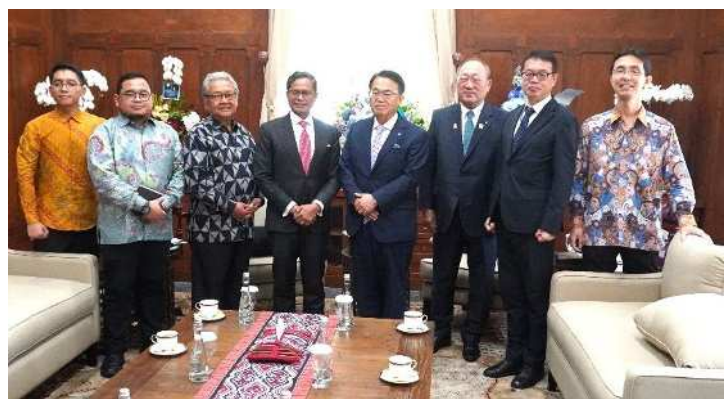
パハラ外務副大臣との面談の様子



パハラ外務副大臣との記念撮影①



パハラ外務副大臣との記念撮影②



面談出席者との記念撮影

### 3 インドネシア前副大統領との面談（担当：国際課）

#### (1) 日時

2024年8月19日（月）午後1時10分から午後1時40分まで

（日本時間8月19日（月）午後3時10分から午後3時40分まで）

#### (2) 場所

Cyber 2 Tower（ジャカルタ首都特別州）

(3) 面談者

ユスフ・カッタ インドネシア前副大統領（現職：インドネシア赤十字総裁）

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 嶋尾正会頭

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

ジェットロ名古屋 平野修一所長

(5) 内容

大村知事は、カッタ前副大統領と面談し、意見交換を行いました。

大村知事は、「今回は5年ぶりにインドネシアを訪問し、皆様に再会できて大変うれしく思っている。カッタ前副大統領とお会いするのは今回で6度目であり、大変光栄に思う。」と発言したところ、カッタ前副大統領から、「政府の仕事から退いてからは、より多くの時間を社会事業に割いているところである。インドネシアでは今後、グリーンエネルギーが重要になるということで、グリーンでクリーンな電力の開発を推し進めているところである。現在、5つの州で水力発電の開発を進めており、経済の格差が大きいインドネシアにおいて、日本企業とともにビジネスのバランスをとっていきたいと考えている。」と発言がありました。

また大村知事から、「本日は先ほどパハラ外務副大臣と面談し、愛知・名古屋へのインドネシア領事館の設置を申し入れたところである。副大統領在任中にも領事館の設置要望をさせていただいたが、更にトヨタ自動車始め日本企業によるインドネシアへの投資は増えている。日本には約150,000人のインドネシア人が在住し、愛知県にはそのうち約12,000人が在住し、東京よりも多い。是非愛知・名古屋に領事館を設置していただけるようサポートをお願いしたい。」と発言したところ、カッタ前副大統領から、「多くのインドネシア人が日本に住んでいることを非常にうれしく思っている。インドネシア人にとって日本は規律正しく素敵な国と評判である。インドネシアには日本・愛知の方々に来ていただき、インドネシアから日本・愛知へ人々が行く、そうした行き来をすることで、経済、ビジネスの関係はもちろん、人と人との交流が出来るということが素晴らしいことだと考えている。」と発言がありました。これに対し大村知事は、「愛知・名古屋には日本最大のインドネシア人のコミュニティがあり、最近、名古屋ではインドネシアフェスティバルが開催され、大変賑わっている。」と応じ、愛知・名古屋への訪問を呼びかけました。



カッタ前副大統領との面談の様子



面談出席者との記念撮影



カッラ前副大統領との記念撮影①



カッラ前副大統領との記念撮影②

#### 4 インドネシア運輸大臣との面談（担当：国際課）

(1) 日時

2024年8月19日（月）午後3時40分から午後4時10まで  
（日本時間8月19日（月）午後5時40分から午後6時10分まで）

(2) 場所

インドネシア運輸省（ジャカルタ首都特別州）

(3) 面談者

ブディ・カルヤ・スマディ インドネシア運輸大臣

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 嶋尾正会頭

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

(5) 内容

大村知事は、インドネシア運輸省を訪問し、ブディ運輸大臣と面談しました。

大村知事は、「愛知県は製造品出荷額が46年連続して国内第1位であり、トヨタ自動車に代表される自動車産業を始め、日本の製造業の中心地である。愛知県から多くの愛知県企業が進出しており、日本からインドネシアへの投資の約半分が愛知県の企業の投資である。加えて、日本には約150,000人のインドネシア人が在住し、愛知県にはそのうち約12,000人が在住している。2017年に貴国のダルミン経済担当調整大臣との間で『経済交流に関する覚書』を結んでおり、ジャカルタに日本からの進出企業を支援するサポートデスクも開設している。」と発言しました。

これに対しブディ運輸大臣は、「2024年1月に日本を訪問し、国土交通省と『交通分野における協力に関する覚書』を締結した。今後も両国において緊密な協力・連携をしていきたいと考えている。」と発言しました。

また、大村知事は、「愛知県とインドネシアは活発に経済活動を行っているが、コロナ禍に、中部国際空港とインドネシアを結ぶ直行便が休止になっている。両地域の交流がますます盛んになるよう、将来的には直行便の復活を期待している。今後も愛知県とインドネシアのつながりをより一層深めるため、ブディ運輸大臣にもお力添えいただきたい。」と発言しました。

ブディ運輸大臣は、「コロナ禍後、インドネシアの航空会社が保有する機体は、約 650 機から 400 機程度と 6 割程度に減少し、旅客輸送能力が不足しているのが現状である。これに対し、国内線需要を満たし、需給関係を整えることに注力していきたいと考えている。中部国際空港への直行便に関しても調査を進めており、直行便を開設するには、旅客数が足りていないという評価が出ているのが現状であるが、今後も引き続き議論を深めて、前向きに検討を進めていきたいと思う。また、もし日本の航空会社が直行便を計画するのであれば、全力で支援する意向である。」と応じ、今後も中部国際空港とインドネシアの直行便の再開に向けて議論を進めていくことを確認しました。



ブディ運輸大臣との面談の様子



面談出席者との記念撮影



ブディ運輸大臣との記念撮影①



ブディ運輸大臣との記念撮影②

## 5 経済交流会（愛知県主催）（担当課：産業立地通商課）

### （1）日時

2024年8月19日（月）午後7時から午後8時25分まで  
（日本時間8月19日（月）午後9時から午後10時25分まで）

### （2）場所

ホテル「プルマン・ジャカルタ・インドネシア」

### （3）出席者

大村秀章愛知県知事、ユスフ・カッラ前副大統領、まさきやすし正木靖駐インドネシア日本国大使はじめ約150名

#### (4) 内容

大村知事は、インドネシアの政府要人や経済団体、インドネシア企業、県内進出企業、現地日本政府関係機関、愛知県訪問団が一堂に会する経済交流会を開催し、両地域の友好関係を深めました。

大村知事は主催者挨拶で、インドネシアへの訪問は2019年以来5年ぶりであり、経済交流会の開催は2017年以来7年ぶりであることを紹介したうえで、愛知県は、2017年に経済担当調整大臣府との「経済交流に関する覚書」の締結を契機として、インドネシアに進出する県内企業を支援するためのサポートデスクをジャカルタに開設するなど、積極的に経済交流を推進してきたと述べました。また、日本には約150,000人のインドネシア人が在住しており、愛知県にはその内約12,000人と、日本で最も多くインドネシア人の方が在住していることや、インドネシアには日本から多くの企業が投資をしているが、その約半分は愛知県の企業の投資であることなど、愛知県とインドネシアの深い関わりについて紹介しました。

来賓挨拶では、カッラ前副大統領から「愛知県はインドネシアにとってとても大事なパートナーである。愛知県には産業に加え、先進的なテクノロジーが集積しており、持続的発展の先進事例となっている。インドネシアに進出している愛知県企業が更に活躍し、イノベーションを起こすことを期待する。愛知県とインドネシアの関係が更に発展し、強固になることを切に願う。」との発言がありました。

続いて、正木駐インドネシア日本国大使からは「日本とインドネシアは長年に渡り緊密な関係を構築し、昨年国交樹立65周年を迎えた。こうした中、両国関係において愛知県は特筆すべき存在である。愛知県は日本随一の産業集積を誇る県であり、当地にもトヨタをはじめ多くの愛知県企業が進出している。自動車においては電気自動車ばかりが注目を浴びがちであるが、インドネシア政府はEVに加え、バイオディーゼルや水素などによる「マルチ・パスウェイ※」を目指しており、愛知県の企業は引き続き大切なパートナーとして位置づけられている」との発言がありました。

経済交流会では、例年名古屋で開催される「世界コスプレサミット」に出場経験のあるインドネシアのコスプレイヤーによるアトラクションが行われたほか、会場内にはSTATION Ai、ジブリパーク、「第20回アジア競技大会」及び「第5回アジアパラ競技大会」を紹介する特設コーナーの設置や、天むすや手羽先といった愛知の食の提供など、愛知の魅力を大いにPRする機会となりました。



大村知事による主催者挨拶



カッラ前副大統領による来賓挨拶





大村知事の右隣からカッタ前副大統領、ゴーベル国会副議長、正木駐インドネシア日本国大使



インドネシア人コスプレイヤーとの記念撮影

※マルチ・パスウェイ

電気自動車や燃料電池自動車、エンジン車など、さまざまな方法でカーボンニュートラル化を目指す考え方。

## 東南アジア渡航日程の概要（予定）

2024年8月18日（日）～8月27日（火）：8泊10日

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 発表予定 (日本時間)
8/18 (日)	8:20 9:30 11:15 17:05 18:50	中部国際空港発 (JL3082) 成田国際空港着 成田国際空港発 (JL725) スカルノハッタ国際空港着 前西ジャワ州知事との面談	ジャカルタ	8/19(月) 14:00頃
8/19 (月)	<del>11:10</del> <del>11:00</del> <del>12:10</del> <del>10:00</del> <del>13:10</del> <del>13:30</del> <del>15:40</del> <del>15:00</del> <del>調整中</del> <del>19:00</del> <del>18:30</del>	インドネシア国会副議長との面談 インドネシア外務副大臣との面談 インドネシア前副大統領との面談 インドネシア運輸大臣との面談 <del>インドネシア経済担当調整大臣との面談</del> 経済交流会（愛知県主催）	ジャカルタ	8/20(火) 14:00頃
8/20 (火)	11:40 14:25 16:00 17:00	スカルノハッタ国際空港発 (GA832) チャンギ国際空港着 駐シンガポール日本国大使との面談 シンガポール第二貿易産業大臣兼人材開発大臣との面談	シンガポール	8/21(水) 14:00頃
8/21 (水)	10:30 12:45 15:55 17:15	シンガポール国立大学訪問 シンガポール副首相との面談 チャンギ国際空港発 (TG414) スワンナプーム国際空港着	バンコク	8/22(木) 14:00頃
8/22 (木)	10:30 11:30 14:00 15:00	タイ副首相兼運輸大臣との面談 バンコク都副知事との面談 タイ工業大臣との面談 エアポートセールス（リアリークールエアラインズ）	バンコク	8/23(金) 14:00頃
8/23 (金)	11:20 13:10 14:30 午後	スワンナプーム国際空港発 (VN600) タンソンニャット国際空港着 エアポートセールス（ベトジェットエア） ホーチミン市共産党委員会書記との面談 ホーチミン市人民委員会委員長との面談	ホーチミン	8/24(土) 14:00頃
8/24 (土)		サイゴン大学等訪問	ホーチミン	8/25(日) 14:00頃

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 発表予定 (日本時間)
8/25 (日)	13:00 15:15	タンソンニャット国際空港発 (VN248) ノイバイ国際空港着	ハノイ	—
8/26 (月)	調整中	ベトナム首相との面談 ベトナム副首相兼司法大臣との面談 ベトナム計画投資大臣との面談 ベトナム交通運輸大臣との面談 ベトナム産業貿易副大臣との面談 エアポートセールス (ベトナム航空)	機中	8/27(火) 14:00 定例知事会見時
8/27 (火)	0:15 6:55	ノイバイ国際空港発 (VN346) 中部国際空港着	—	—

※日程については、調整中であり変更となる可能性があります。

※行事の予定時間は現地時間、行事結果の県政記者クラブへの配布予定時刻は日本時間です。

※現地時間は以下のとおりです。

- ・インドネシア、タイ、ベトナム      日本時間－2 時間
- ・シンガポール                              日本時間－1 時間